



センター長挨拶

研修医の皆さん、こんにちは。このたびセンター長として新たに任命されました、片岡寛章（病理部・病理診断科）です。昭和57年に旧宮崎医科大学を卒業しました、本学医学部の三期生となります。岡山昭彦前センター長は、大学内の診療科等のみならず多くの学外医療施設と連携し、県内の医療圏をほぼ網羅した「県内一体型研修」が実現できる、素晴らしい研修プログラム群を築いてこられました。今後も頼もしい副センター長（小松弘幸先生）と9名の経験豊かな研修アドバイザー（センター所属の教員・指導医）と力をあわせ（助けてもらいながら）、研修医が能動的に研修できる柔軟なプログラムと受け入れ態勢の確保、研修医ひとりひとりにきめ細やかに対応できる研修支援体制のさらなる充実に努めていきたいと思っています。また、現在わが国ではあらたな専門医制度の仕組みが論議されており、近くその全容も明らかになります。大きな制度の変革にも対応していけるように準備を怠りなく整え、研修医のみなさんにもしっかりと新しい情報を伝えていきたいと考えています。不安な点や疑問などありましたら、遠慮なく我々に申してください。充実した研修となりますよう、精一杯の支援をさせていただきます。

卒後臨床研修センター長
片岡 寛章先生

新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会

第25回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会（宮崎県医師会主催）が4月22日（火）に宮崎観光ホテルにおいて開催されました。

祝賀会は宮崎県医師会長の挨拶から始まり、宮崎県知事、宮崎大学長から激励の言葉を頂きました。新研修医代表として、高石真那斗先生（写真左壇上）が感謝の言葉と今後の抱負を述べました。

また、新研修医52名（本院37名、県立宮崎病院10名、県立日南病院3名、古賀総合病院1名、宮崎生協病院1名）が紹介され、研修医一人ひとりが今後の抱負等を述べ、和やかな雰囲気の中閉会しました。



マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病院説明会を開催！

6月6日、本学医学部生対象の「マッチング説明会&宮崎県内基幹型臨床研修病院説明会」が開催されました。卒後臨床研修センターの小松副センター長からマッチング概要の説明後、県内の7基幹型病院（県立宮崎/日南/延岡、古賀総合、宮崎生協、藤元総合、宮崎大学）の研修担当者が、約100名の参加者を前に、各研修プログラムの魅力をアピールしました。





研修医の声



Voice
1 年次研修医
中津留 佳菜子
(写真左から 2 番目)

宮崎大学医学部附属病院初期研修1年目の中津留佳菜子です。4月に研修が始まり、あっという間に3ヶ月が経ちました。市中病院の外科、大学病院の精神科とローテートし、現在は大学病院の内科で研修させて頂いています。分からないこと、出来ないことが多々あり、未熟さを痛感させられる毎日ですが、優しく熱心に指導して下さる先生方や様々な医療スタッフの皆さんのサポートもあり、学びの多い充実した日々を送っています。素晴らしい研修環境に感謝し、日々成長できるよう頑張っていきたいと思います。



Voice
2 年次研修医
魏 峻 洸
(写真中央)

2年目研修医の魏です。スペースを頂いたので、研修プログラムについて少しお話ししたいと思います。宮大の研修プログラム、特に2年目は自由度が高いことが特徴です。小松先生が苦勞して作成して下さるローテート表には、それぞれの個性がはっきりと表れています。進むと決めた科をがっつり選ぶ人、それとは逆に今後は経験できないであろう科をとる人、進む科を決めきれず、色々な科をまんべんなくとる人などなど…。ちなみに僕は病態と診断学に興味があったので、内科や救急の他に病理部と放射線科で研修を選択しました。1年目の研修医の先生はぜひ2年目研修医のローテーションを見てみてください。きっと面白いと思います。



指導医からのメッセージ



H25年度研修医が選ぶベスト指導医

安部 智大先生

ドクターカーは、車にはねられた患者の到着を待っていた。間もなく到着した救急車にはよく見慣れた女性が付き添っていた。「研修医1年目の〇〇です。タクシーの中で交通事故を目撃したんです。」聞くと、彼女は乗っていたタクシーを止め、事故現場で患者の救護にあたったというのだ。医師は責任や多くの不安が頭を巡り、一步を踏み出せない。彼女は多くの不安と闘いながら一步を踏み出した。医師としての使命感が芽生えていた。宮大の研修医ってすごい！



eレジフェア 2014in 西日本 /

レジナビフェア 2014in 大阪&東京

病院説明会「eレジフェア2014in西日本」が6月1日(日)に西日本総合展示場、「レジナビフェア2014in大阪」が7月6日(日)にインテックス大阪、「レジナビフェア2014in東京」が7月20日(日)に東京ビッグサイトで開催されました。

本院も宮崎県内基幹型臨床研修病院とともに参加し、研修プログラムや病院の魅力等の説明を行いました。今後も多くの学生さんに興味を持っていただけるようアピールしていきたいです。





研修プログラムお助け Q&A



【第4回】研修中の夏季休暇の取得について

Q

現在2年目の研修中です。今年の研修ローテートのスケジュールは、7月がX病院、8月がY病院、9-10月がZ病院となっています。卒後センターより、研修先病院に自分で夏季休暇取得のお願いをしようと言われましたが、短期間研修が続きなかなか言い出しづらいです。どうすればいいのでしょうか？(質問者:研修医PPさん)

A

かつて(10年以上前ですが…)は「研修医が夏休み云々を言うなんて…」という風潮がなきにしもあらず？でした。しかし、2004年からの臨床研修制度以降、研修病院側として安定した給与や夏季休暇の取得、研修医室(机・ロッカー等)の設置など、福利厚生面の充実が研修プログラムの充実と同じく重要視されています。

宮崎大学研修プログラムでは、毎年5月に、卒後臨床研修センター長より大学各診療科および協力型病院・施設の研修責任者の先生方宛に、研修医の夏季休暇取得についてご配慮いただくようお願いの通知をさせていただいております。具体的には、原則として7~9月の間に平日3日間(土日を含めると5日間)をだいたい目安とする夏季休暇の取得をお願いさせていただいております。もちろん、各研修医の研修スケジュールや研修診療分野の特性によって、この期間は変動することがあります。以上のように、卒後センターより各診療科・病院に予め夏季休暇取得のお願いをしておりますので、研修医の皆さんは必ず当該期間に指導医の先生に夏季休暇の日程についてご相談下さい。

今回の相談ケースの場合だと、X病院とY病院の研修期間は1ヶ月間、Z病院の研修期間は2ヶ月間ですので、まずは、Z病院に相談してみるのがいいかもしれません。ただ、ローテート開始前に夏季休暇のことだけを相談するのは抵抗があると思いますので、その場合はローテート開始後の早い段階で相談して下さい(直前の相談はNG! 指導医の先生も対応に苦慮します)。

(回答者:副センター長小松)



研修センターコラム

「話を聞くこと」

三好 良英先生 (卒後臨床研修センター教員)

精神科は研修医や他科の先生から「患者さんが不安で治療に前向きでないで、治療に入ってほしい」と依頼を受けることがあります。入院後の検査や治療の結果と今後の方針についての説明に同席させていただいたところ、説明後に患者さんがうなだれたまま「私は治療をしても、どうせもう元気にはなれないのでしょうか？」とおっしゃいました。主治医は、治療後の検査結果をもう一度説明し「治療の効果がでていないから難しいですね」と伝え、カルテには「不安が強く、治療に拒否的」と記載されていました。

患者さんは自分の状態や将来の展望に関して悲観になっていることも多く、治療者の態度や言葉が思いがけない影響を与えることがあります。より具体的に「もう元気にはなれないと思うと心配ですね。どうすれば元気になったと感ぜられるでしょう？」と質問することも良いかもしれません。治療者と患者さんとお互いが理解を共有できているかどうかを確認することも重要です。質問する際には丁寧に、患者さんを責めるような雰囲気にならないよう配慮することも必要です。

良好な治療関係を維持することが精神療法の基本といわれますが、これは精神科に限らないのではないかと思います。患者さんの気持ちや考えを積極的に聞き、患者さんの反応に気を配りながら面接をしていく姿勢を大切にしてください。





センター教員の挨拶



中島 孝治先生 (卒後臨床研修センター教員)

平成26年4月より卒後臨床研修センターに配属となりました。平成11年、大分医科大学(当時)を卒業し、同年より第一内科に所属しております。専門は、消化器内科、腫瘍内科です。

医師としての礎となる最初の貴重な2年間で、より多くを学んでいただけるよう、研修医の皆さんのお手伝いができればと思っております。

よく学び、大いに笑い、時に涙し、たまに二日酔いになったりしながら、一緒に成長していきたいでしょう。よろしく申し上げます。



坪内 拓伸先生 (卒後臨床研修センター教員)

平成26年4月より当センター配属となりました坪内です。平成19～20年度に当センター所属の初期研修医として走りまわっていました。初期研修医の頃はあっという間の2年間でしたが、麻酔科、外科など、多くの診療科を少しでも経験できたことは貴重な財産になっています。また、同期が院内で活躍しているので、相談しやすく助かっています。大学院生の間は研修医の先生と関わるのが少なかったため、ぜひ一緒に精進したいと思っています。よろしく申し上げます。



行事案内

8月	7日(木)	第1回 歯科医師臨床研修マッチング面接
	18日(月)	第1回 医師臨床研修マッチング面接
	21日(木)	第2回 歯科医師臨床研修マッチング面接
	28日(木)	第3回 歯科医師臨床研修マッチング面接
9月	1日(月)	第2回 医師臨床研修マッチング面接
	11日(木)	第4回 歯科医師臨床研修マッチング面接
	18日(木)	第5回 歯科医師臨床研修マッチング面接
	23日(火)	九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会(福岡市)
	未定	宮崎大学診療科説明会
10月	23日(木)	医師臨床研修マッチング決定
	28日(火)	歯科医師臨床研修マッチング決定
11月	29日(土)	宮崎大学研修ローテート説明会
12月	20日(土)～21日(日)	指導医のための教育ワークショップ(宮崎市)

なんでも 掲示板

研修『何でも掲示板』への原稿・記事募集！

研修に関する情報共有、意見交換の場として『何でも掲示板』のコーナーを開設します。内容は研修に関することなら何でも結構です。これは研修医に知ってほしいという情報、メッセージなどをぜひお寄せください。みなさまからのご応募をお待ちしております。

例)【内容】 研修医や指導医へのメッセージ、研修関連勉強会の案内、トピックスの紹介など

【字数】 200～400字程度

【図表】 1点まで可(掲載できるサイズが小さくなります。)

※センター通信発刊月は毎年3回(4,8,12月)です。

宮崎大学 医学部 総務課 卒後臨床研修係 (内線: 2385/2386)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL:0985-85-1864 / FAX:0985-85-3101
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp